

平成29年度 第1回学校評議員会 記録

日時 平成29年7月25日
15時30分～17時
場所 長野南高校 会議室

1、開会の言葉（教頭）

2、学校長あいさつ

Infinity～僕らの絆は無限大～というテーマで、第35回南稜祭が開催された。全校集会において、「校内だけでなく、地域の人々との絆を大切に」と話をした。日曜日の一般公開には900名を超える来校者があった。評議員の皆様には、本校と地域との絆のパイプ役としてさまざまなご意見を頂戴したい。



県教委として、「学びの改革に係る地域懇談会」を県下各地で開催いたします。4区の説明会は8月23日、あんずホールで開催される。ぜひ足をお運びいただき、ご意見をお寄せいただきたい。

3、出席者自己紹介

4、報告・意見交換

(1)本校の概要 《教頭》*本年度の重点目標について *在籍生徒数 *1学期の部活動の結果
《教務係》



5月の公開授業、見学者の人数が増えた。本校への関心が高くなっている。「学校がきれい」や「あいさつが気持ちよい」との評価がみられた。7月に行われる体験入学の参加者も、昨年比で約100名の増となっている。公開授業や体験授業に先立って、「南稜通信」を持参して中学校訪問を行い、広報に努めている。

《生活指導係》

春と秋に交通指導を行っている。

昨年の4月には、自

転車交通安全教室(スクエアストレイト)を行った。今年度は長野南警察署から講師を招いて交通安全教室などを実施し、自転車事故の防止に努めている。ここ数年自転車事故の件数は減ってきている。事故件数は減少傾向にはあるが、これまでの事故の内容(右側通行によるもの、並列走行によるもの等)がは違うものになっている。登下校時の自転車指導にもっと力を入れる。



スマホ等の使用については、4月に1年生へ指導した。アルバイトは許可制となっている。自動車免許は、進路が決まった者が取得できるようにしている。バイク通学に関しては本年度はなし。いじめ4件は同一事案である。いじめの認知が厳しくなっているので件数も増えていく可能性もあるが、大きな事案になる前に解決している。

《進路指導係》



1・2年の取り組みが3年の実績につながるという認識であり、学習時間を増やす工夫をしている。定期考査前に学習時間調査2回実施。3年生進路希望調査では、4年制大学が増え、短大が減る。今年の3月の卒業生の進路実績は、4年制大学への進学者が減り、専門学校への進学者が増加した。県内の私立大学の公立大学化の影響が如実に表れている。今年の3学年の補習については、教える内容を精選し、生徒の力をつけていく方針である。現在、90名くらいの生徒がセンター試験受験を予定している。さらに第二期・第三期の補習で力をつけたい。就職は公務員希望を入れて、20名。求人は順調、9月16日が就職試験の開始日。

《生徒会係》

昨年度の後期目標は、勇猛邁進～一度決めた志を最後までやり遂げよう～で、本年度の前期目標は、Be Together As Oneということで活動しております。「挨拶」「校歌」「清掃」を核に、朝の挨拶運動をしたり、清掃をしっかり行ったり、弘化を大きな声で歌ったりして、頑張っている。ボランティアの依頼も増加してきているため、例年行っているボランティア(下氷鮑保育園等)があまりできていない。

東日本大震災の1円玉募金は、復興がかなうまで、心を寄り添って続けている。高校生でも長くできるように、継続中。川中島白桃のボランティアは、細々とではあるが継続して取り組んでいる。南稜祭は、昨年の反省をもとに土曜日に限定公開を行い、124名の来校があった。日曜日の来校者数は約900名。反省点等を集約し、土曜日の限定公開を来年以降続けていくかは、今度の検討課題。今年は、南稜祭の記憶が鮮明なうちに次期生徒会三役の立候補を募ろうと考え、7月19日に会長・副会長の公示をした。



《渉外(P.T.A)係》



5月末から6月上旬にかけて地区P.T.Aを開催し、学校生活について、進路についてなどの意見交換が行われた。あわせて来年度の役員を決めた。南稜祭では、昨年までのフリーマーケットを、今年から、農業大学の農産物の販売を行い、売り上げの一部を生徒会へ寄贈した。お休み処で冷たいお茶のふるまいは例年通り行っていただいた。

(2)意見交換(○学校評議員、◇学校職員)

○自転車事故は通学中ですか？

→◇ほぼ通学中。朝あわててくる生徒が多い。帰りの自損事故もある。

○交通安全教室後、事故が減るということだが・・・

→◇発生件数が減り、事故の内容が変わる。右側通行での事故から左側通行しての事故等。

○左側通行や歩道を走ってはいけないなど、現状と交通ルールが伴っていないので危ない。

→◇歩道を走ってよい個所もある。歩道の走り方の指導も重要。

◇住宅街の狭い道で自分の都合のよいように乗ってしまう。事あるごとに指導をしている。

○スケアードストレイトを毎年行うことは無理なのか

→◇毎年は無理なので、JAFが行っている安全教室なども工夫して取り入れていく。

○雨の日の自転車通学はカップを着ているか？

→◇カップを用意している生徒が多くなってきた。前が見えなくて事故もあった。雨が降ると保護者による送迎が多い。



○公開授業で1年生の保護者が多いのはなぜか？

→◇タイミングよく学級通信などで知らせることができた。最初なので関心も高かったものと思われる。

○挨拶をすることは、高校生は恥ずかしいのか？

○他の高校生も、挨拶はしている。大人の方が恥ずかしがっている面もある。挨拶運動を継続していくことは、いろいろなことにつながる。人間

関係の構築力の基礎が養われ、友達が増え、世界が広がっていく契機にもなると思われる。

○地域でも挨拶を心がけたい。声かけや自転車ルールも含めて。

○自転車に乗っている最中のイヤホンについての指導は？

→◇全校集会で心に訴える話をしたが、本日の朝指導でもイヤホンしている生徒がいた。本人の自覚が薄い。事あるごとに注意喚起をしている。警察も対応がバラバラ(片耳だけならよい等)なので、学校としては困る。一度事故に遭うと、あんな思いはしたくないという気持ちから、二度目はほとんどない。

○保護者からも呼びかけが必要だ。

→◇PTA会報にも書かせていただいたが、命にかかわることなので、連携して指導をしていきたい。

○自転車で加害者になったときは？任意保険には加入させているのか？

→◇任意保険の斡旋はしている。自転車保険などは、ほとんどの生徒が入っている。

○私立大学が公立化して、特に県内の進路をめぐる状況が厳しくなっている。そのため、学校のレベルを上げ、補習で生徒に危機感をもたせ、生徒の進路希望がかなえられるように指導をお願いしたい。

→◇生徒をやる気にさせる指導が大切。文科省の指導により、首都圏の私立大学は定員の1.1倍以上の生徒を合格させてはいけないようになってから、大学進学が厳しい状況を迎えている。県内の大学は定員の1.3倍までの合格者しか出せない。とにかく努力させたい。

○補習では、どんな内容のことをやっているのか？

→◇時期・教科により変わってくるが、授業内では取り扱えない範囲の学習や教科書を終わらせる指導、入試問題等を解くといった内容になる。

○他校の取り組みで、進学塾の講師を招いて学校の先生が学んでいるという話を聞いて驚いた。学力を向上させるためには、そういうこともあるのか？

→◇塾の先生は入試問題の解法や、テクニックについて精通している。予備校は膨大な入試データを持っており、そこに強みがあると考え。18歳人口の減少により、予備校としては浪人生だけでなく、現役生や学校の教員へとサービスの対象を広げている。

○クラス替えをしないことで、進路への影響は？

→◇クラスの中にいろいろな希望をもった生徒がいるので、習熟度別の講座で授業を行っている。緊張して、刺激になっている。効率的にできれば、クラス分けしなくてもやっていける。

○家庭の学習時間を増やすための工夫は？

→◇1時間未満の生徒が多い。学年プラス2時間といっている。生徒の知ってはいるが、現実と理想にはギャップがある。学習時間を増やすために教科として課題を出すなどして対応している。

○レベルアップ効果を出すために予備校の講演会の開催してはどうか？

→◇今年の3年生は、PTA総会の後の学年PTAに、予備校の先生の講演を保護者対象に行った。進路選択の際に保護者の影響が大きいので、保護者の進学に対する意識を高める目的で行った。とすれば厳しい受験勉強をわが子に強いるのは可哀相だという保護者の意識もあるので、保護者の方も生徒と一緒にがんばるという意識になって欲しいと思っている。

○スマホなどの英語翻訳機能の高度化により、英語の勉強をしなくてもよくなるのではないかと？

→◇ITC教育としてSNS機器を活用した授業をしている先生もいる。

○進路選択に保護者の影響が大きいということなので、5分でも良いから、家庭内で親子の会話の機会を設けてほしい。親から子へ、子から親への要望などを伝え合う時間を持てれば、良くなる。

5、各評議員より

○先生たちに頑張ってもらいたい。

○南稜祭に地域の方々がたくさん来ていただいた。お茶と野菜の販売をした。ありがとうございました。

○他校の文化祭を見た。南高は、生徒と先生が1つのテーマに沿ってよくやっていた。コミュニケーションがとれている。授業の様子も最近すごく良い。評議員会議での我々の意見に対して、学校としてのフィードバックをお願いしたい。

○南稜祭の発表を一生懸命やっていた。挨拶も良くしてくれて感心する。たくさんの方がいらっしゃってくれて、良いと思った。

○アルバイトは、基本的に禁止ですか？

→◇平日は禁止、土日・長期休業は届け出制。学業がおろそかにならないようにしている。

○「風と緑の会」だが、働くというより、作業体験になってしまっている。アルバイトという形だと、社会を学ぶことができたり、やる気をもって行うことができるのでは？そういう方法はあるのか。



6、その他

- ・ 10月17日(火)公開授業後、地域の皆様と学校職員との懇談会の予定。例年50～60名ほど。
- ・ 第2回 学校評議員会(12月22日(金)予定)では、新執行部(4～5名)と地域の皆様(4～5名)で意見交換をしていただく。
- ・ 第3回 学校評議員会 2月23日(金)予定

7、閉会の言葉(教頭)

